

発信日 2004年12月15日(水)

葛飾区伝統産業館

報道関係者各位

[伝統工芸職人たちによる直販店・葛飾区伝統産業館「感謝祭」のお知らせ]

葛飾区伝統産業館（東京都葛飾区立石 7-3-16、館長:銅板仏画・柳 富治）は、葛飾区旧立石出張所跡に開設の『葛飾区伝統産業館』にて、一年のお礼の気持ちを込め、感謝セール「感謝祭」を実施する。

葛飾の伝統工芸品は、江戸時代以来の伝統的な技術を継承する数多くの職人に支えられております。震災や戦災、あるいは再開発や親方からの独立などで移り住んだ為、41種59名と多くの職人が区内で活動しているのが、東京都下でも特徴的です。

今回実施するの感謝祭(12/17～18)では、一階の常設販売ブース(36名の職人の品)に、特別奉仕品を用意するほか、1000円以上のお買い上げで、来年の干支「酉」のお守り根付を進呈。

さらに、会館2階に特別会場を設置し、13名の職人が販売ブースを設置。それぞれの品物を持ち寄り、通常より一割以上安く感謝価格にて販売する。

参加職人は、江戸刷毛・福原、竹細工・萩原、東京組紐・近藤、東京打刃物・大河原、東京幅広友禅・大久保、銅板仏画・柳、江戸形彫・矢田、東京手描友禅・兵藤、東京銀器・西山、江戸木彫刻・塩田、江戸衣装着人形・菊池、伊勢型紙・松井、江戸切子・清水の13名。

年末ということで、来年の干支「酉」にちなんだ品として、置物や飾など他、新年のご挨拶に用いられる「干支」手ぬぐ等もご用意して、お待ちしております。

☆感謝祭日時

日時 2004年12月17日(金)～19日(日) 午前11時～午後5時

会場 葛飾区伝統産業館 124-0012 東京都葛飾区立石7-3-16

電話・FAX 03-5671-8288

また、伝統工芸の普及のために実施している、伝統工芸体験教室の新年1～3月の予定は下記記載の通り。

以上

[葛飾区伝統産業職人会] について

葛飾区伝統産業職人会は平成3年に会員の交流、販路の確保、後継者の育成など伝統産業の振興を目的として、葛飾区内の伝統産業の従事者でつくられた団体です。

現在は、葛飾区内の様々な業種からなる59名の会員がいて、会員のつくる工芸品を販売する5月の職人会まつりや、10月の葛飾区産業フェア・伝統産業展への出展など様々な事業をしています。

[葛飾区伝統産業館 概要]

館長:柳 富治

開設 2001年5月

〒124-0006 東京都葛飾区立石 7-3-16 TEL・FAX 03-5671-8288

[伝統工芸に触れよう、学ぼう、体験しよう。伝統工芸体験教室]

H17

1,15 ちょうちん作 30名 提灯 大坂かおる

2,19 黒檀の唐木細工による箸(はし)作り 6名 唐木細工 土倉昭夫

3,19 茶杓作り 6名 竹工芸 萩原末次郎

(対象) 小学5年生(10歳)以上の方

(受講料 各講座共通) 講習料 1人2000円(材料費込)

(お申込方法) 電話・FAX03-5671-8288にて<氏名・住所・電話番号>を伝えてお申込ください。

(会場・お申込先) 葛飾区伝統産業館 124-0012 東京都葛飾区立石 7-3-16

[葛飾区伝統産業館・常設出展品(一階)] について

葛飾区指定伝統産業館出展品 26業種36職人

銅版仏画・東京木彫刻・象牙彫刻・江戸刷毛・東京桐箆笥・東京仏壇・江戸和竿・竹工芸・唐木細工・江戸漆器・印傳・東京幅広友禅・東京手描友禅・伊勢形紙・江戸型紙・江戸衣装着人形・江戸押絵羽子板・江戸打刃物・東京打刃物・銅器(おろし金)・東京銀器・鍔金具・彫金・硝子彫刻・棕櫚たわし・印章・篆刻・印章ケース

うち、

国指定伝統的工芸品・・・東京手描友禅、江戸和竿、東京銀器、江戸切子

東京都指定伝統工芸品・・・江戸刷毛、東京銀器、東京手描友禅、江戸漆器、江戸鼈甲、江戸刷毛、東京仏壇、江戸更紗、江戸和竿、江戸衣装着人形、江戸切子、江戸押絵羽子板、東京桐箆笥、江戸木彫刻、(東京)彫金、東京打刃物

[本リリースに関するお問い合わせ]

・葛飾区伝統産業職人会

E-Mail shokunin@lily.freemail.ne.jp

・関連リンク

葛飾区伝統産業職人会ホームページ

<http://k-densan.hp.infoseek.co.jp/>

・関連資料

画像：感謝祭ご案内ちらし (620*875)

同画像。TIF および JPG 形式

<http://k-densan.hp.infoseek.co.jp/chirashi.tif>

<http://k-densan.hp.infoseek.co.jp/chirashi.jpg>